

Libella りべら

持続可能な未来をみんなで作る

vol.157
2021.10

りべら vol.157 2021.10



特集：公害と患者会の50年

- 証言：公害病と向き合う 上田敏幸 …1
- 人間の尊厳の回復を旨とした50年 森脇君雄 …2
- 写真で振り返る患者会 …3
- 公害患者さんの生活に密着取材！ …5
- 患者さんは家族！ 支えながら、支えられた日々 …6
- 被害者の声で社会を変える！ 公害被害者総行動デー …7

- 市民と行政の対話の場 西淀川道路連絡会 …8
- 「近畿運輸局バリアフリー化推進功労者表彰」を受賞しました！ …9
- おもろいわ 西淀川 …9
- あおぞら財団教育・研修事業紹介/エコミューズ所蔵資料紹介 …10
- ミサゴの思い 佃の記憶一碑を辿る …11

〈表紙の絵〉

「にしよど八景 歌島橋」作：森脇君雄（西淀川公害患者と家族の会の会長）。西淀川の風景を連作で描いているうちの一つです。大野川緑陰道路に架かる歌島橋を前景に、患者会とあおぞら財団の事務所が入っているあおぞらビルが描かれています。

発行所：公益財団法人公害地域再生センター（あおぞら財団）
〒555-0013 大阪府西淀川区千舟1-1-1 あおぞらビル4階

あおぞらフォトギャラリー



にしよどおこぼうさいかるたが完成！「第8回みんなで考えよう！にしよど防災カフェ」(NPO法人にこネット実施、主催：西淀川区役所)でかるた体験をしました。(2021.7.29)



大学コンソーシアム京都から5人のインターン生が来ました。写真は「インドと日本の大気汚染の改善について」の報告。(2021.8.19)

お知らせ

みてアート2021 ～にしよどがアートのまちになる日～

かつて大気汚染などが深刻化し「公害のまち」とも呼ばれた西淀川区で、アートをきっかけにみんなで交流するイベントです。

●日時：11/6(土)～11/7(日) ※先行展示あり
11:00～16:00

雨天決行・荒天中止/入場無料(一部有料)

アート展示、ワークショップなど、区内で連携イベントが同時開催。区内の店舗、事務所などをまわって、アートを体感しよう。

拠点を回ってシールを集めると素敵な景品がもらえます。

主催/みてアート実行委員会



詳しくは▲



1960年代から問題となった大気汚染公害によって、多くの人が健康被害を受けました。その責任を問う西淀川公害裁判(1978～1998)では公害患者が勝利しました。患者は「手渡したいのは青い空」を願い、裁判の和解金の一部を使って1996年にまちづくり組織・あおぞら財団を立ち上げました。まちづくり・資料館・環境学習・公害患者の保健・国際交流の事業を行い、持続可能な地域づくりに取り組んでいます。

【あおぞらビル】

【1F】地域交流スペース「あおぞらイコバ」

会議、ギャラリー、コンサート、上映会などにご利用いただけます。

午前：1,000円/午後：1,300円/夜間：1,300円/全日：3,000円

【5F】西淀川・公害と環境資料館(エコミューズ)

西淀川公害や環境について、地域の歴史などが知りたい人はぜひお越しください。(環境教育等促進法にかかる「体験の機会の場」認定施設)

開館日 月曜日と金曜日(10:00～17:00)／要事前電話予約

※いずれも、予約・お問い合わせは4F事務所へ

【会員・寄附募集】

あおぞら財団への寄附や賛助会費は、税制上の優遇措置があります。

●賛助会員 会員の方には機関紙「りべら」などを送ります。

【年会費】個人：年一口5,000円、学生：年一口2,000円、法人・団体：年一口10,000円

●会費・寄附の振込先

【郵便振替口座】記号・番号：00960-9-124893/加入者名：あおぞら財団
【ゆうちょ銀行】金融コード：9900/店番：099/預金種目：当座
/店名：0九九店/番号：0124893/名義：あおぞら財団

【三菱UFJ銀行】歌島橋支店/普通/3728858/財)公害地域再生センター
これまでご案内しておりました、三菱UFJ銀行と口座が変わっておりますので、ご注意ください。

公害と患者会の50年

「手渡したいのは青い空」大気汚染公害が深刻化していた50年前に、そんな思いを元に大阪市西淀川で立ち上がった人たちがいます。それが「西淀川公害患者と家族の会」(以下患者会)ですが、一般的にはどんな団体なのかはあまり知られていません。今回は、あおぞら財団の親ともいえる「患者会」にスポットを当てました。

【西淀川公害者と家族の会(患者会)とは】

誰が会員？

西淀川区在住で、ぜん息・慢性気管支炎・肺気腫など、大気汚染が原因で公害病になった患者と家族で構成しています。

どんな活動？

患者会は、「西淀川から公害をなくし、住民のいのちとくらしを守り、住みよい西淀川をつくる」ことを目的として1972年10月29日に設立されました。全国の公害患者とつながり、互いに協力して、公害の発生源をなくす活動や、公害患者の救済制度を守り未認定患者の救済を求める運動を続けています。また、公害の語り部の活動や、水俣病や福島原発事故に係る裁判の傍聴支援など、患者会役員のみなさんは今も忙しいです。事務局では、患者たちの公健法の申請や更新手続きのサポートもしています。

どんな組織？

あおぞら財団と同じあおぞらビルの2Fに事務所があります。西淀川区内に6つの支部があり、毎月1回、役員会が行われています。患者会のいちばん大事な活動は、患者・家族に寄りそって相談や困りごとに対応することです。



人間の尊厳の回復を
目指した50年
西淀川公害患者と家族の会
会長 森脇 君雄 さん

患者会を立ち上げてから、もうすぐで50年の月日が経ちます。立ち上げたばかりの当時は、症状がひどい患者がいっぱいいました。子どもと年寄りが多かった。特に子どもの被害が大きく、自分達が設立した千北病院で見聞きたり、子どもの家を訪問して母親の話を聞いたりしました。

大阪市や環境省と必死に交渉して、公害患者の救済制度や公害健康被害補償法を僕らも一緒になって作りました。この制度は、企業や自動車に責任があるということも明確にしました。患者会は、「公害をなくすこと」と「被害者救済」、そして「患者の健康被害の回復」の3つを柱にずっと進んできたわけ。これは西淀川だけじゃなく、大阪府でも全国的にもそういうことになった。

運動の先頭に立ったのは症状が重い患者たち。死んでもええから頑張るっていう気があった。自分たちが頑張らなきゃという意識がみんなに浸透した理由の一番は学習やわ。なぜ病気になるのか、人のせいじゃなくてそれは工場や自動車がこうしたんやと。学習・実践そして団結というので大きな組織になった。実践して学習した力が人を説得する力に変わっていったんやろね。だから宮本憲一さん(元滋賀大学学長)が「日本一の公害患者会や」と言う。

患者会には言ったことはみんなきちっとするという習慣が50年経っても残っている。今後は、今残っている患者さんをどうしようかということ。容易なことじゃないけど、あおぞら財団やあおぞら苑の協力を得て、患者の相談に乗っていきたい。



西淀川公害患者と家族の会 事務局長
上田 敏幸 さん
補足部分(黒字)



山下 明 さん

患による障がいには3級に認定されていました。「気管支ぜんそくは、発作が出なければ、普通の人と変わらないし、性格的にも病気なんかにめげずに前向きに生きていきたい」と思っている。でも、できるだけ明るく振る舞っているから、そう思われるのかもしれないと気丈に話していた彼女ですが、入浴中に発作を起こして帰らぬ人となりました。無念。

「証言3」 「死ななくてよかった」

建設機械・くい打ち機のオペレーターをしていたのですが、47歳のときの大発作は作業現場で起こりました。救急車で病院に担ぎこまれたときには心肺停止で人口呼吸器をつけられ、おむつだけの姿でベッドに手足を縛られていました。手足首は紫色になり、苦しさのあまり意識のない閉じた目から涙があふれていたそうです。意識を回復して目を覚ますと、枕元にいた妻と子どもたちの目は真っ赤に腫れ上がっていました。私は、つらい思いをさせて申し訳ない気持ちでこみ上げ、「死ななくてよかった」と心の底から思いました。

仕事大好き人間の山下明さん(74)。生きるためには働かなくては食っていかせません。家族を養うためには仕事を休む訳にはいきません。ヒューヒュー、ゼーゼー、ぜん鳴が止まず、病院で点滴した後、仕事に行くこともしよっちゅうです。「おとうちゃん、いかにって！」。妻・晴美さんに泣きながらに止められたことも。

明さんの願いはただひとつ。公害による被害者を二度と生み出すことのない世の中をつくることです。「私には間に合わなくても、子どもや孫の時代が、公害のない住みよいまちになることを望んでいます」。多くの患者の強い希いです。



平田 和子 さん

激しい発作が頻繁に襲うようになったのは、50代でした。友人とハイキングに出かけた時、行き先で具合が悪くなりました。這うようにして家までたどり着き、トイレに駆け込んだのですが、今度は息ができない、声が出ない。恥ずかしい話ですが、便器に座ったままドアを開け助けを求めました。

「証言2」 「今夜がヤマです」

「この子を殺して、私も…」病気に振り回され精神的にも追い詰められていた私は、ある晩、息子の傍にハサミを持って立ったことがあります。でも、できなかった。何も知らずに死になって肩を上下させて息を吸う我が子の姿が私の正気を呼び戻してくれました。

(岡崎久女さん(69)のインタビューはp5に掲載。)



岡崎 久女 さん

「証言1」 「この子を殺して、私も…」

1歳の息子まで同じ病気になるとは、考えてもみませんでした。発作が起きて苦しくなるのは同じ時間帯、夜の1時半から明け方4時過ぎごろまで続きます。夜、子どもが肩で息をするようになり、顔が青ざめている姿を見るのは、言いようのない辛さですが、自分も同じ状態で、息子を介抱する苦しみは到底わからないと思います。親子揃って発作で苦しんだことが一番辛かったです。

証言 公害病と向き合う

写真で振り返る患者会

公害反対運動、裁判、和解、そしてあおぞら財団の設立……。

約50年間にわたって行われた様々な患者会の活動を、今の患者会の方々と一緒に振り返りました。

振り返り参加者(敬称略)

森脇君雄(患者会会長)、上田敏幸(事務局)

岡崎久女、山下晴美、須恵佐与子、国松かなえ

高場耐子、池永末子、辻阪みゆき

1972年10月29日 患者会発足

公害根絶と被害者救済をめざして発足。

1973年 公害患者への完全補償を求めて デモ行進「うそつき関電」

森脇:企業責任をはっきりとさせるために、11月7日に関西電力と交渉をし、関電は「責任の一端はある」と認めた。それにも関わらず、12月7日には公害健康被害補償法(公健法)*にお金を出すからと患者との話し合いから逃げてしまった。

上田:この横断幕は森脇さんが書いた字ですね。

森脇:桜橋から関電までみんなで歩きました。寒くて歯がカチカチと鳴ったのを覚えている。



*公害健康被害の補償等に関する法律:健康被害に係る損害を補うため、医療費、補償費などの支給、公害保健福祉事業を行う費用を汚染原因物質の排出者から徴収している。

1976年 第1回 全国公害被害者総行動デー*に参加 (以降毎年開催)

森脇:全国の公害被害の団体が集まって、霞が関の官公庁や企業と交渉を行った。当時は大阪からもたくさんの方が参加した。新幹線の1車両と半分くらいは、大阪からの公害患者。重症の患者も多数参加した。



写真:1981年第6回全国公害被害者総行動デー。今年の様子はP7。

*全国公害被害者総行動デー:第1回目は1976年6月に水俣病、イタイイタイ病、大気汚染など全国82団体が東京に結集した。交流会や集会、省庁一斉要請行動が行われている。

1978年 西淀川公害裁判一次訴訟提訴 (84年:二次、85年:三次、92年:四次)

山下:大和田小学校で西淀川公害訴訟勝利決起集会が行われました。体育館だけでなく、運動場にまで人がいました。受付で紙を配られて、「訴訟を起こすのに賛成の人は紙を挙げて」と言われ、紙を挙げました。

森脇:この集会には1,000を超える人が集まった。小学校の体育館は、西淀川の患者会ならと貸してもらえた。



1986年10月1日~6日 公害指定地域解除*に反対する 緊急総決起行動

岡崎:大気汚染の指定地域の解除には、とても腹が立ちました。解除されると新規の患者が認定されなくなってしまう。子どものぜん息患者が増え続けている中で、なぜ解除されるのかわかりませんでした。



*公害指定地域解除:公健法に基づいて、指定地域の公害認定患者に対して補償費が給付されている。環境庁は、経団連からの廃止の働きかけを受け、第1種指定地域(大気汚染)の解除の見直しを行っていた。1988年に第1種指定地域は解除された。

1995年3月2日 被告企業との 和解確認式

岡崎:企業が謝ってくれて、うれしかったです。日航ホテルの外でみんなで待っていました。

森脇:和解確認式には、被告企業の副社長クラスの人たちが参加した。頭を下げているのは最前列だけで、企業の法務担当者は頭を下げない。おそらく納得はしていなかったんやろう。



1996年 あおぞら財団設立

森脇:エルモ西淀川であおぞら財団設立の集いを開催した。理事(当時)のアグネス・チャンも来てくれました。岡崎:アグネス・チャンは電気自動車に乗ってやってきました。財団には空気をきれいにしてほしいと願いを託しました。



1998年 国・阪神高速道路 公団と和解

和解条項に基づいて道路連絡会を毎年実施。
(今年の道路連絡会はp8に掲載)

2001年~ 大気汚染公害の語り部活動

須恵:語り部は、みんな真剣に聞いてくれました。西淀高校の校長先生が、「良いお話だったので原稿を欲しい」と言ってくれたことがあります。

岡崎:西淀高校だけでなく、小学校や大学など、いろんなところに話に行きました。小学校で話した後、道で子どもが話しかけてくれたことがあります。

池永:保育園の先生をしていたので、語り部に行った先で、昔の教え子が覚えてくれていたのも嬉しかったです。



写真:西淀川高校で行われた語り部の授業(2008.12.16)

2006年 デイサービス「あおぞら苑」開所

森脇:患者会の総会で、通所介護施設デイサービスの開設を決め、あおぞら苑をオープン。入り口に、宮本憲一先生(前滋賀大学学長)の字で「公害で闘い環境再生の夢を」の文字が入った記念碑がある。この石は僕の実家の岡山の有漢から運んだんや。



2011年~ ぜん息患者懇談会、 楽しく呼吸会

須恵:療養生活に役立っています。
国松:一人ではなかなか体操をする気になれないけれど、みんなとならしっかり取り組める。
岡崎:習った体操を家で続けている。



写真:千北診療所で行われたぜん息患者懇談会(2011.9.22)

2021年10月30日 第50回 定期大会を 開催予定

公害患者さんの生活に密着取材！

患者会の主役の公害患者さんが、日々をどう過ごしているか取材しました。📷

民謡が生きがい

須惠 佐與子さん



兵庫県有馬の生まれ。1960年前後の西淀川は青空がなく、洗濯物を干してもすぐに汚れてしまうほど、空気が汚れていました。須惠さんは公害によって慢性気管支炎になり、西淀川公害裁判においても原告になっています。

須惠さんは現在も週に4回は吸入治療のため、月に1回は主治医による診療のため、千北診療所に通っています。吸入治療はゼン息の基本となるもので、薬を霧状にして直接気管支に届け、少ない量でも大きな効果がある療法です。吸入をした後は「喉が楽になるし、

ほっとします」。きちんと療養しているのが、毎日、楽しく過ごしていますが、辛いこともあります。それは急な咳き込み、バスや電車の中で咳が出してしまうことがあり、コロナ禍のため、周りから嫌な目見られるのが辛いそうです。

須惠さんの一番の楽しみは民謡。習い始めてから45年。尼崎まで先生に習いに行ったり、近所の人同士で集まって練習をしたりしています。「三味線は楽しいし、唄は好き」。真剣な表情で三味線を弾いたり、伸びやかに民謡を歌いあげる様子が素敵でした。

生きることは難しいからこそ幸せ

岡崎 久女さん



高知県安芸市の生まれ。1973年から西淀川に移り住みました。次男も公害で気管支ぜん息になりました。岡崎さんが千北診療所に吸入治療に行くのは月に4回程度。ぜん息発作に苦しんだり、重責発作で仮死状態で救急搬送されたりもしましたが、「47年もぜん息と付き合っていたら、付き合い方が上手になった」と笑顔で語ります。

患者会の活動については、「家庭のこともあるからピラ配りや署名集めは本当に大変だった。でも、自分と子どものことだから頑張りました」「国・公団との和解の日は私の誕生日。一生忘れられないですよ」「もし、あの時何もやらなかったら私の人生はもっと暗かった。語りべで被害を聞いてくれた人に、きちんと伝わったとわかった時には嬉しかった」と振りかえり、「生きることは難しい。でも、難しいからこそ楽しく幸せ」と目を輝かせました。

患者さんは家族！

支えながら、

支えられた日々

増本さんは25年以上にわたって

患者会の事務局を務めています。

増本さんのお仕事は、事務全般、

公害認定に関わる相談活動を

行っています。

西淀川公害患者と家族の会事務局
増本 美江さん



患者会事務局にスカウト！

増本さんが患者会事務局で働くようにきっかけは、森協会長に「事務所働いてみないか？」とスカウトされたことです。森協会長は、増本さんの以前のアルバイト先での様子をみて「この子は人の話をしっかり聞くことができる子だ」と思ったようです。

当時の患者会の事務局は千北診療所の2階にありました。働きだした当初は、森協会長から「お金の出入りをまとめてくれればいい」と言われるだけでした。当時は裁判闘争の真っただ中でしたが、患者さんはみなさんとても優しく居心地のいい場所だったそうです。

一般的な仕事では経験しないこと

公害反対運動のデモ行進、公害裁判の傍聴、ピラ配りや署名のお願、大気汚染裁判における被告企業との交渉など、一般的な仕事をしていたら経験することのない経験をたくさんしています。特に、大気汚染裁判の被告企業との

患者さんの立場にたって

和解の前後は、事務所が緊張感に包まれていて、和解が実現した時には感動もひとしおでした。公害被害者総行動（p7参照）にも、増本さんに子どもが生まれるまで参加していました。重度の患者さんも多数参加されており、中には点滴を下げながら参加していた患者さんもいたそうです。もう二度と公害を繰り返してはいけないとの思いがこころまで人を強くするんだと増本さんは驚かされました。

患者会事務局を務める中で、増本さんは多くの患者さんに出会ってきました。

働き始めたころ、岡崎久女さんが、自分と子どもが公害病になり、それが原因で3人目の子をあきらめなければならなかったことを話してくれました。増本さんは大きな衝撃を受け、その日は泣きながら家に帰りました。

「3婆」と呼ばれた塚口アキエさん、岡前千代子さん、北村ヨシエさんをはじめ、他にもたくさん思い出深い患者さんがいます



1996年 岡山県湯郷湯温泉転地療養にて患者さん達と

が、どの方も、健気でひたむきにまじめに公害をなくしたいと活動されていました。

西淀川に住んでいただけで公害病になり、大切な人を失った人もたくさんおられます。増本さんは「家族がたくさん増えたみたい」に思っていて、患者さんが大好きです。患者さんから教えてもらった事を忘れずに、その人の立場にたって物事を考えられるようにしたいとの思いで、今も患者会の事務局で仕事をしておられます。📷

2年連続でPM2.5が環境基準値以下に！ 市民と行政の対話の場 西淀川道路連絡会

◆**西淀川道路連絡会とは**
西淀川は幹線道路や高速道路が数多くあり、道路を通過する大型ディーゼル車の排気ガスが工場の煙とまじりあい複合大気汚染となっていました。西淀川公害裁判では、企業だけでなく、道路を管理する国と阪神高速道路公団(現・株式会社)を被告として提訴しました。訴訟は20年に及びましたが、原告団の患者は世論の支持を受け、1998年に原告の主張が基本的に認められる形で和解しました。原告は、金銭的な補償を放棄し、代わりに環境改善のためお互いに努力しようとする約束したのです。

「西淀川道路連絡会」はこの和解条項に基づいて実施されています。連絡会では、道路の沿道の環境改善施策の実施を原告(公害患者)と被告(道路管理者)の双方が確認し、協議する場です。1998年以降、基本的に毎年1回開催されています。

◆**第24回道路連絡会**
◆**オンラインで開催**
2021年8月25日(水)に第24回西淀川道路連絡会が行われ



オンライン西淀川道路連絡会

◆**道路環境は改善中**
今回は、交通量が減少傾向

ました。緊急事態宣言下となったため、昨年度に引き続き、国交省近畿地方整備局、阪神高速道路株式会社、弁護士、原告団をオンラインでつないで開催しました。

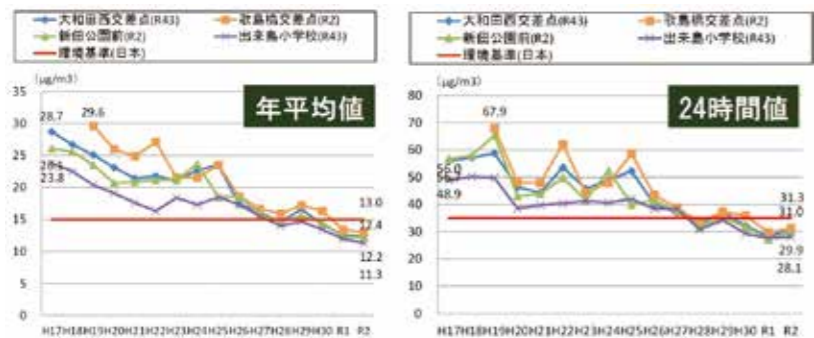
最初に、原告団の山下明さんから被害の訴えがあり、ステロイドの副作用により皮膚に影響が残っていることなどをお話してくれました(山下さんの被害はp2を参照)。それを受けて、国交省近畿地方整備局および阪神高速道路株式会社からは、コミュニケーションが大切であること、被害者の視点に立って道路環境の改善をしていくとの回答がありました。



被害の訴えを行う山下さん

にあること、それにより大気も改善していることを確認しました。PM2.5は測定を開始した2005年には環境基準を大幅に超えていましたが、2019年度、2020年度は環境基準をクリアしました。コロナ禍により経済活動や移動が減少していること、自動車の個別の排出ガス規制によって1台当たりの排出量が減少していること、また、環境ロードプライシングによって5号湾岸線に大型車が転換していること等が原因として考えられます。PM2.5の早期からの測定、環境ロードプライシングは道路連絡会で協議を重ねて実施されてきた施策です。

他に、大気常時測定局のPR



西淀川区のPM2.5の推移

被害者の声が社会を変える！ 公害被害者総行動デー

●**公害被害者が手をつなぎ、連帯を力に**

公害の被害を受けるのは普通に生活している一般市民であるのに対して、公害を起こす企業やそれを規制する国はあまりにも大きく、個人には太刀打ちできない存在のように感じます。全国の公害被害者が連帯することで官公庁等と直接協議の場を持つ、それが公害被害者総行動デーです。

●**総行動デーが始まった背景**

四大公害裁判がきっかけとなって、公害の発生源の規制や公害健康被害補償法による被害者救済が行われるようになりました。しかし、1973年のオイルショックをきっかけに経済成長はストップし、政財界による「公害は終わった」キャンペーンが始まり、日本の環境行政は後退しました。

こうした背景の中、環境行政の後退を止めるために、1976年に公害被害者総行動デーが



第1回全国公害被害者総行動デー(1976年)

●**46回目の総行動はオンライン**

45回目、46回目の公害被害者総行動デーは、コロナ禍中ということで、オンラインで東京と全国の会場をつないで行われています。46回目は国土交通省、文部科学省、環境大臣、環境保健部長、地球環境局、内閣官房、原子力規制庁等との交渉を実施しました。

●**公害対策は環境省の原点**

環境大臣交渉では、(1)水俣病被害者の救済、(2)原発汚染水の海洋放出問題、(3)大気汚染による公害被害者の補償の充実と未認定患者の救済、(4)気候危機への対応と石炭火力発電所の全面廃止の4点の要請がありました。次に、原発事故、大気汚染、水俣病の被害者から被害の訴えがありました。



小泉進次郎環境大臣(2021年6月29日)

また、大阪からリモートで参加した森脇君雄代表委員は「被害者の声を聴くことができる環境省の素晴らしい伝統。これを守り、広げてほしい」と要望しました。それに対し、環境大臣からは「環境行政の原点は公害にある。環境省の組織ができてから50年。未来永劫忘れてはいけないのが公害問題である」との表明がありました。

地球温暖化やカーボンニュートラル、廃プラなど、環境行政の範囲が広がっていますが、公害の経験をふまえて、公害被害者の救済と被害を生み出さない環境をつくってほしいというのが公害被害者の願いです。



大阪会場の様子

看板、歌島橋交差点の街路樹の植え替え、環境ロードプライシングのさらなるPR、自転車道の推進といった施策が出され、弁護士からはトロリトラックを検討して欲しいとの意見も出ました。

今後、大気汚染改善だけでなく、脱炭素社会の実現に向けて、道路環境が改善されるよう、話し合いを続けていきます。



あおぞら財団 教育・研修事業のご案内

あおぞら財団では、西淀川の公害の解決に取り組んだ貴重な経験をもとに、環境と人権を重視したSDGs時代の学びをコーディネートします。西淀川公害の歴史はもちろん、地域再生のまちづくり、交通マネジメント、環境と防災といったテーマの研修も展開しています。

◆西淀川フィールドワーク

西淀川公害裁判を経て、公害対策が進められた地域を歩き、青空をとりもどした西淀川の「今」を体感します。公害患者をはじめ、元企業の担当者、行政、弁護士などの多様な語り手をコーディネートできます。

〈プログラム料〉

1時間/10,000円(ガイド2人随行を基本。30人以上参加の場合、要追加料金)

◆講演・出張授業

公害患者の出前授業や、財団研究員による講演・ワークショップも承ります。講師料と交通費が必要です。お申込み時にご相談ください。

〈お問い合わせ〉

あおぞら財団 webmaster@aozora.or.jp



オンラインで語り部と交流



コロナ禍が続く中、当初、フィールドワークを予定していた寝屋川市人権教育研究協議会の夏季一日研修会について、「公害患者さんとの大切な出会いの場としたい」という主催者のご要望を受け、オンラインに変更して開催しました。20人の教職員の方々が参加されました。

西淀川公害患者と家族の会から池永末子さんと上田敏幸事務局長にお話していただき、質疑応答にも多くの時間を割くことができたのは、オンラインの良い側面だと感じました。

参加者と当日同席したインターン生の感想をご紹介します。多くの方に患者さんの声を聞いていただきたいです(2021.8.17実施) 衆

公害患者さんのお話を直接、お聞きして、黙っていても問題は解決しない、理不尽なことが起きたとき、みんなで立ち向かうことが大切だという強い思いを感じました。5年生で公害について学ぶとき、ぜひ参考にさせていただきます。

娘の世話を最優先して自分を後回しにした母・池永さん。国はしっかり支援し、すべての人が手頃な価格で医療にアクセスできるようにするべきだと思います。



あおぞら財団のYouTubeチャンネルで、西淀川公害裁判を紹介した動画を公開しています。ぜひご利用ください。

あおぞら財団附属西淀川・公害と環境資料館エコミューズ所蔵資料紹介



ECOMUSE 西淀川・公害と環境資料館 エコミューズ利用のご案内

エコミューズでは、公害や西淀川地域に関する図書や、西淀川公害裁判資料、弁護士や患者会・住民運動などの一次資料といわれる写真や会議資料等を所蔵しています。ぜひ一度、お越しください。

◆利用案内

開館時間:月および金曜 10:00-17:00
*開架図書・資料は一般の図書館と同様に利用いただけますが、資料のレファレンスや展示パネルの解説等をご希望の場合は、2週間前までにご予約をお願いします。

〈資料公開規定〉

開架図書・資料 貸出可(一部、禁帯出資料あり)。
貸出期間は2週間。
裁判記録:閲覧のみ
書庫資料:閲覧のみ

〈お問い合わせ〉

あおぞら財団 webmaster@aozora.or.jp
エコミューズ aozora.or.jp/ecomuse/

中津コーポ高速道路反対ニュースピラ

エコミューズ館長:小田康徳

写真は、大阪市大淀区(現在北区)中津コーポ住民による高速道路反対のニュースピラの一部です。1971年5月から72年8月31日まで全95号がまとめられています。書き手は、のちに大阪空襲の研究やその被災者運動で知られる故小山仁示関西大学教授。当時40歳になったばかりで、B4版の紙面いっぱいを使い、大量の字数になることもしばしばでした。

ニュースでは、号を追って道路公害に関する認識を深め、解決すべき課題を明確にしています。当局や府・市議会、そしてマスコミ等との交渉を通じ問題の所在を明らかにし、その解決の社会的意味を論じていきます。また、道路で結ばれる関係地域の住民運動に何度も連帯のメールを送っています。そのなかには西淀川公害反対運動を進める人びとも含まれていました。運動を点から線へ、線から面へと広げる意義が何度も語られています。

今回見つけ出された資料は、その運動の実際を再現する根本資料です。西淀川公害反対運動も、こうした広い背景を持って展開したことが確認できます。



Report

令和3年度「近畿運輸局バリアフリー化推進功労者表彰(優秀賞)」を受賞しました!



この度、あおぞら財団が、奈良県立奈良西養護学校、一般社団法人市民自転車学校プロジェクト(CCSP)の皆様と取り組んでまいりました「子どもの発達に合わせた自転車教育プログラムの実践」に対して令和3年度「近畿運輸局バリアフリー化推進功労者表彰」にて優秀賞をいただきました。

この表彰は、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」(バリアフリー法)の趣旨を踏まえ、バリアフリー化の推進に多大な貢献が認められた個人又は団体を表



新型コロナウイルスの影響で、オンラインでの表彰式でした!

彰するもので、平成20年度に創設されました。

これまでご支援・協力いただいた皆様に感謝申し上げるとともに、本受賞を励みに、これからも「手渡したいのは青い空」を目指して、環境にも教育にも良い自転車を活かした取り組みを継続・発展させていきたいと思ひます。

文(藤江徹・あおぞら財団事務局長)

新連載

おもろいわ 西淀川



西淀川の「おもろいわ」を楽しむ「おもろいわ西淀川」。SNSで発信中です。あなたの「おもろいわ」を #おもろいわ西淀川 で投稿してください。みんなで「おもろいわ西淀川」を発掘!



Instagram



Facebook

西淀川区魅力発信サポーター事業と連携 #にしよど #魅力発信サポーター でSNSに投稿して、一緒に西淀川を盛り上げましょう!



魅力発信サポーター募集中

「祈りを込めてお参りに…西淀川の神社特集!」



7月31日、8月1日に夏祭がありました。感染症対策として例年より簡素化されて、アルコール消毒も置かれていました。露店が並んだので小さな子どもたちが集まっていました。夏のお祭りを、ささやかに楽しむことができた2日間でした。 #田養神社 #夏祭 (あおぞら財団学生アルバイト 東)



貝殻を使った絵馬!? 他ではなかなか見られないかも! やりなおし神社とも呼ばれる姫嶋神社の帆立絵馬は、帆を立てて進む船のように新しいスタートが順風満帆に進むようにという願いを込めているのだとか。 #姫島神社 #やりなおし神社 #帆立絵馬 (あおぞら財団インターン生 田中)



淀川沿いにある鼻川神社 少し奥に入った境内の下あたりに可愛らしく鎮座しているらしいです #鼻川神社 #獅子と鯰 #獅子 #鯰 #神社仏閣 (@sazanqua_home.5 茶梅)





佃の記憶 — 碑を辿る —

西淀川の今も昔も
見てきたミサゴ。
西淀川がどのように
変わってきたのか？
どんな問題を
抱えているのか？
それを解決できたのか？
ミサゴのように、
時には俯瞰して、
時には水面近くから、
西淀川の昔と今を
捉えます。

難波八十島のひとつである田養島はこの地であると古くから伝えられてきたので、1974年の貫之忌に因んでこの歌碑が建てられました。



境内にある紀貫之の歌碑

30名の佃漁民が江戸へ移住しました。埋立地を作り、1644年にその地を佃島と命名。江戸の産業振興の一環として、幕府が佃漁民の漁や加工技術を活用しようと考へ、結果として「佃煮」が開発されたそうです。



境内にある「佃漁民ゆかりの地」の石碑

● 徳川家康と佃

佃は、西淀川区の北側に位置し、左門殿川と神崎川という2つの川に囲まれた地域です。川に囲まれているので大雨や台風によって川が増水し危険がある場合、橋が閉鎖され、陸の孤島になります。私は小学3年生の時に佃に移住し、今に至るまで遊びや生活のほとんどをこのまちで過ごしました。今回はこの佃という地域を紹介いたします。自分が住んでいるまちということ、私の個人的な話も多くなっていますが、読んでいただければ嬉しいです。

● 田養神社

田養神社は佃一丁目にある住吉四神を祭る神社で、境内には紀貫之が詠んだ歌碑があります。「雨により田養の島をけふゆけば名にはかくれぬもにぞありける」※1

田養神社の境内には「佃漁民ゆかりの地」という石碑もあります。この碑は2006年に農林水産省の「未来に残したい漁業漁村の歴史文化財百選」に選ばれました。徳川家康が北摂の多田神社へ戦勝祈願の参拝に向かう際、佃漁民が渡船を務めたそうです。その恩賞として家康から漁業特権を与えられました。大坂の陣では、家康側の海上隠密作戦を行ったそうです。その後、将軍家の献魚役として、約

佃漁民が江戸へ移住した縁から、大阪の佃小学校と東京の佃島小学校は1965年から姉妹校として、毎年交互に生徒の代表が訪問し、交歓会を行っています。私は佃小学校出身で、この交流を覚えていますが、訪問するのは生徒代表数名ですが、それ以外の在校生は相手の生徒と手紙を交換して交流を深めました。手紙交換は小学5、6年で行い、同じ学年・同じ組・同じ出席番号の友達に宛てて書きました。知らない友達と手紙だけのやり取りをするのは、とても新鮮で特別な気分がしました。中学に上がって

参考文献・写真の出典

『大阪人 第61巻12月号特集 西淀川雨え』/2007/(財)大阪都市工学情報センター
『戦争の悲しさ』/2006/望月貞子/大阪佃史研究会
『佃史探求』/2003/大阪佃史研究会
『西淀川区史』/1996/西淀川区制七十周年記念実行委員会

※1 この歌は『古今和歌集』に収録され「難波へまかりけるとき、田養の島にて雨にあいて詠める」と詞書がついています。歌枕の田養に養と頼みを掛けて「雨が降るので養を頼りに田養島へ行って見たが、養という名だけでは体を隠すことができなかった」という意もあります。/(西淀川区史)/平成8年

も、文通をしていたという友達もいました。

● 空襲の記憶

1945年6月26日、佃に、空襲による爆弾の投下がありました。爆弾は左門殿川の堤防下にあった防空壕付近に落下し、50数名が犠牲になりました。当時の被害を「戦争の悲しさ」から伺うことができます。

この文を書かれた望月貞子さんは当時12歳で、この空襲により母、姉、叔父の3人を亡くされました。この「戦争の悲しさ」という記録は、私が佃小学校に



当時の姿を残す石段 佃小学校正門西側

通っていた時にも授業で読んだことがあり、具体的に佃の地名が出てきたことで、戦争が一気に身近なものとなったのを覚えています。今回改めて読み返してみると、記録の中に登場する石段が、私が今も利用している石段であることがわかりました。私の中で授業の一環として完結していた空襲が、今も続く日常に感じられ、何とも言えない気持ちになりました。

戦争の悲しさ (文望月貞子)
“：淀川大橋がやられ、電車が不通となり、佃まで歩いてようやく現場へ着いた父は、へなへなとくずれ折れ男泣きに泣いたそうだ。翌日私たちもやっこの思いで佃にたどり着いたが、想像以上の無残さに声もなかった。いつも私たちが入っていた防空壕は跡形もなくすり鉢状に掘り返したようなほら穴になっていた。その辺に散らばっている誰のものとも分からぬ衣服の切れ端、バラバラに飛び散った腕指、足、これがこの世のものとは思えぬほど悲惨なものであった。…”

● 再建された鎮魂碑

1985年に防空壕で犠牲となった50数名の「被爆者鎮魂碑」と祠が、地元の人たちによって建立されましたが、台風により修復不能になっていました。しかし今年(2021年)6月26日に佃小学校の敷地内に再建され、慰霊祭が行われました。また昨年小学校の空き教室に、佃の歴史を伝える資料館が開設されました。今は見に行けないのでコロナが収まった後に、行ってみたいと思います。



再建された鎮魂碑 佃小学校敷地内



Reporter
東 里 紗

西淀川在住/奈良県立大学地域創造学部地域創造学科4年/高校生の時に自分が暮らす西淀川を「公害のまち」と決めつけ、よく知ろうとしました。大学進学後、あおぞら財団のアルバイトとして、改めて西淀川の事を学んでいます。



あおぞら広場

ありがとうございます

(2020年12月～2021年8月 敬称略・順不同)

●入会

一柳 正義
吉田 長裕
山崎 義郷
藤江 めぐみ
鎌形 浩史
古里 貴士
片田 孫朝日

●寄附・寄贈者

石塚 裕子 山崎 義郷
井関 佳法 山崎スチール株式会社
内田 寛 公益財団法人淀川勤労者厚生協会
大島 民旗 松井 憲子
奥村 昌裕 松村 暢彦
柏原 愛子 新田 保次
川崎 美栄子 水俣病被害者の会全国連絡会
古賀 崇 浅井 真二
櫻井 次郎 蔵本 幸治
清水 万由子 村松 昭夫
谷 智恵子 池田 拓也
中村 昌史 中山 裕二
八丸 久美子 湯本 浩之
松本 嘉子 藤江 めぐみ
逢坂 隆子 萩野直路
伊藤 三男 片岡直樹
鎌形 浩史 片田 孫朝日
吉村 良一 弁護士法人LSC
宮本 由貴 功刀 恵美子

●お助け ボランティア

大西 愛
山下 晴美
岡村 裕成
藤井 めぐみ
渡辺 哲敬

スタッフから一言

大学院の教授からの紹介を受けてあおぞら財団でアルバイトを始めて、数か月が経過しました。長年にわたり収集してこられた資料の目録を作り、あるいは資料の整理を行くと、さまざまな作業に携わらせていただいておりますが、その膨大な数には圧倒されます。公害問題に関する資料をこれほど集められていることは、後々の世にとっても利益となることと思ひ、そのためにわずかばかりでも助力ができるように、仕事に取組ませていただいております。



これさわ たくみ
是澤 匠

(エコミューズ資料整理スタッフ・
大阪市立大学大学院)

緑道散歩

疲れ果てた一日の後、インターンシップ先のおおぞら財団近くの大野川緑陰道路を散歩。大野川緑陰道路は私に畏敬の念を起させ、とても風光明媚な場所です。美しい花やポスター、緑に覆われており、賑やかな都会の喧騒から逃れることができました。(2021.8.23)



インターン生 ニリシュタ

「りべら」に広告を掲載しませんか?

年3回発行の「りべら」は、あおぞら財団会員様をはじめ、西淀川の公共施設・店舗など、様々なスポットに配布しています。あおぞら財団の活動にご賛同いただける方からの広告の掲載を募集中です。

【りべら広告掲載費】

中面1/9頁：1万円/回、中面1/3頁：3万円/回、中面 全面：9万円/回

※お問合せ先：あおぞら財団まで TEL06-6475-8885

スタッフツイッター 編集後記

患者さんで思い出深いのは故・永野千代子さんです。姉御肌でお洒落。私は永野さんのファッションのファンでした。私が失敗した時に「次、がんばりや！私がちゃんと見守ってあげる！」と励ましてくれました。天国でも活躍されているのではないかと思います。

りべら No.157 2021年10月号(年3回発行)

発行所：公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団)
編集人：谷内 久美子
特集企画協力：西淀川公害患者会と家族の会
〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1あおぞらビル4階
TEL 06-6475-8885 FAX 06-6478-5885
http://aozora.or.jp/ webmaster@aozora.or.jp

デザイン：(株)バード・デザインハウス
会員の購読料は会費に含まれています。
本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



あおぞら財団
Facebookページ
「いいね！」を
押してくださいね。



西淀川菜の花プロジェクト ～エコでつながる西淀川～



現在西淀川区内外約50箇所で、廃油を回収しています。回収団体募集中。

エコでつながる
西淀川推進協議会
事務局：浜田化学株式会社
06-6409-1555

広告

ディサービスセンター

あおぞら苑

2006年10月1日にディサービスセンターあおぞら苑は産声を上げました。西淀川公害裁判で四半世紀命をかけて闘った患者さんや家族のみなさまの思いが、ひとつの形になったのがディサービスセンターあおぞら苑です。公害患者さんも高齢になり日々の生活を援助するために、また地域のみなさまが誰でも利用でき、「西淀川に住み続けて良かった。」と思えるようにとの思いがたくさん詰まった場所にしたいと思い設立しました。

【お問い合わせ】
TEL : 06-6475-0111 FAX : 06-6475-0114
URL : http://aozoraen.com/
運営：社会福祉法人 あゆみ福祉会

◆あおぞら苑(事業所番号 2791000090)
〒555-0032 大阪市西淀川区大和田5丁目7番14号
開所曜日：月曜日～土曜日(祝日は開所) 利用人数：1日18人

◆あおぞら苑II(事業所番号 2771002173)
〒555-0031 大阪市西淀川区出来島1丁目2番4号
開所曜日：月曜日～土曜日(祝日は開所) 利用人数：1日25人

Hamada Kagaku
広告

廃棄物でお困りなら 浜田化学のコンシェルジュに お任せください

廃食油
リサイクル

使い終わった廃食油

食品残渣
リサイクル

加工中に発生した食品残渣

廃棄物
リサイクル

その他の廃棄物

お客様に最適なメニューをご提案いたします。

詳しくはホームページをご覧ください。 浜田化学 コンシェルジュ 検索

浜田化学株式会社 ☎06-6411-3457 <http://www.hamadakagaku.co.jp>

広告

医療費の支払でお困りの方 相談下さい。「無料低額診療」実施中！

～「いのちの平等」をめざして～

差額室料をとらず、24時間365日 医療と介護

- ・西淀病院
- ・のざと診療所
- ・千北診療所

- ・ファミリークリニックあい
- ・姫島診療所
- ・ファミリークリニックなごみ

- ・介護老人保健施設よどの里
- ・在宅総合センターらくらく
- ・社会医学研究所

**看護師
募集中!**

WHO認証
「地域健康増進支援事業所」
認証施設

公益財団法人淀川勤労者厚生協会 TEL 06-6471-0496 URL www.yodokyo.or.jp